

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	O191300037		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームみのり山手 つつじ館		
所在地	北広島市山手町6丁目4番		
自己評価作成日	令和1年10月2日	評価結果市町村受理日	令和1年11月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&JigyosyoCd=0191300037-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和1年10月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

北広島市山手町にホームが出来て丸9年、来年は10周年を迎えようとしています。昨年の地震による停電で町内会の方々も大変な時に、沢山の方々がホームの事を気に掛けて下さいました。ホーム理念の「地域の人々とのふれあいを大切に、たくさんの笑顔と安らぎのある暮らしを、送っていただけるよう支援します。」を基本に地域での関わりを大切に、地域ボランティアの活用、町内会参加の避難訓練の実施、町内会参加のイベントの実施などを行い、地域の中に根差したホーム運営を行っています。入居者様には個々に合ったケアを行い、居室には今まで使用していた家具などこれまでの生活を大切にしています。日中は体操や歌レク、嚙下運動などを行い、生活時間の変化を感じて頂けるよう心掛けています。また、季節を感じ取れる食事の提供や季節に合ったイベントを企画、実施し入居者様に楽しく笑顔になれる生活が送れるよう支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームみのり山手」は、公園や学校に囲まれた高台の住宅地に立地している2ユニットの事業所である。施設内は清掃が行き届き清潔感があり、時折静かにBGMを流し全体的に落ち着いた設えである。管理者は利用者が一番大事である事を貫き、また、職員の声として管理者と同様の気持ちであると述べるなど、法人・事業所が目指すところの理念が浸透している様子が窺える。法人職員教育の一つとして各事業所職員が講師となり、事業所を輪番で訪れ研修会や勉強会を開催しており、他を知ることによる自己研鑽や自己覚知に繋げている。職員一人ひとりが意見を言える、そして聴く環境を大切にしており、職員意見やアイデアを活かした運営の基に質の向上や安定を図っている。外出・外食の支援では、ユニットごと、または個別にて、地の利を活かし多彩な行き先を計画して実施されている。セラミックアートセンター、サケのふるさと館、千歳空港、定山溪、樹芸センターなどへ外出し、出先では昼食等を味わう事を恒例としている。七夕、花火、十五夜や七草など日本古来の季節行事を楽しみ、レクリエーションは精神の安定や身体機能の低下予防などを目的に午前・午後実施している。琴の演奏、相撲や野球のテレビ観戦など利用者個々の楽しみ事の支援や口腔ケアへの取り組みも熱心である。胆振東部地震では地域の方々が駆けつけてくれた。利用者・家族・関係者を大切に想い丁寧な運営を積み重ねている事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(つつじ館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	経営理念、福祉三原則、ホーム理念は事務所に掲示し毎朝復唱している。地域の中でその人らしい安心した暮らしを送れるよう支援している。	「地域の人々とのふれあいを大切にし、たくさんの笑顔と安らぎのある暮らしを送っていただけるよう支援します」のホーム理念を掲げている。特に入社時に教育を受ける福祉三原則は職員の学びとなり、日々の振り返りとなっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入している。地域の行事に参加したり、散歩する際に挨拶を交わすなどの交流がある。ボランティアとしてフラダンスの方々の訪問を受け、一緒に踊る場面がある。	胆振東部地震では地域住民が事業所を案じ駆けつけてくれている。事業所バーベキューに町内会の参加を得たり、町内会の夏祭りに利用者を出かけている。ボランティアの訪問や小学校の車椅子体験講習に協力している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の人の理解をして頂くよう、運営推進会議などでホームでの支援を報告している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。町内会長、民生委員、地域包括センター職員、市の職員、御家族さまが参加しており、ホームでの行事や入居者さまの様子を報告したり、御意見を頂いてサービス向上に活かしている。	会議では事業所全体及びユニットそれぞれの報告を行い、事故報告は発生状況・問題点・対策を纏め、意見を出してもらっている。会議案内と議事録を家族等に送付し、会議内容等、運営状況を報告している。	家族アンケートを実施し、家族の参加を促す取り組みを検討しているため、その実現に期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の担当者とは運営推進会議やグループホーム議会などでホームの実情や取り組みを報告している。また、不明な点は市の担当者に相談している。	市の委託事業(ボランティア育成)に協力している。北広島連絡協議会に管理者や職員が出席し、情報提供等を受けている。市主催の求職者向けイベント事業に参加し、事業所紹介などを行った。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に該当する具体的な11項目の行為を事業所に掲示して、身体拘束の勉強会を3カ月に一回行い全職員が理解している。	身体拘束防止委員会を3か月に1度開催している。委員会は職員から意見を出してもらい、確認や検討を行うほか、勉強会の機能を加えている。また、年に2回これらに係る研修を実施し理解を深めている。夜間帯、玄関と2階ユニット玄関を施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	社内に虐待防止委員会を設置し事業所で虐待がないよう取り組んでいる。定期的に事業所内で勉強会を開催したり、外部の研修にも参加している。		

グループホーム みのり山手

自己評価	外部評価	項目	自己評価(つつじ館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員は日常生活自立支援事業や成年後見制度について、講演会や研修に参加し、研修レポートを通して理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に契約書、重要事項説明書に基づいて説明を行い、疑問点を尋ねて説明を行って理解を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者さまからは日々の生活の中で意見や要望を聞き取り反映している。家族さまからは、面会時や電話連絡時、ケアプラン見直し時などの機会に意見や要望を確認してケアに反映している。	利用者からの意見や意向は、その都度満足や安心してもらえる対応に努め、毎月家族へみのり通信と共に葉書で個別のお便りをしたため発送し、状況を知らせながら要望を出しやすくする環境を整えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議や全体会議を随時行い意見交換を行っている。また、ホーム長との面談を実施し意見や要望を聞き取っている。	管理者は、職員一人ひとりがそれぞれ意見を出せるような雰囲気や環境に努め、内容を運営に反映させている。2か月に1度ユニット会議があり、全体会議を必要時に開催し法人からの伝達事項や運営状況を説明している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年ホームの目標と職員個人の目標を立てて掲示している。個人考課表で自己評価を行ってホーム長との面談で取り組みの反省をしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社後本社にて、3か月、1年、2年後の研修を受けている。また、事業所内で毎月職員がテーマを決めて勉強会を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム管理者集會に参加し、勉強会や市内の職員がグループホームに訪問し交流する機会を作り、サービスの向上に繋げている。		

グループホーム みのり山手

自己評価	外部評価	項目	自己評価(つつじ館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前から本人や家族さまから情報収集を行っている。入居後は安心して暮らせるように要望を聞きながら信頼関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に面談を行い、家族さまの要望やこれまでの経過、現在困っていることなどを聞いている。入居後も面会時に情報交換や現状を伝えるなど信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護サービス計画書に本人と家族の生活に対する意向を記入してケアに反映している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は入居者さまの生活パターンやペースに合わせて暮らしを共にしている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月御家族様にはホームでの生活の様子を手紙でお伝えし、何かあれば電話連絡、訪問時に御相談しています。又御家族様の相談も気軽に言えるような環境作りを心がけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまで利用していた地域の理美容、買い物、御友人との面会など関係が途切れないよう支援している。	利用開始前の舞踊仲間である知人が訪ねて来たり、友人の訪問がある。面会の申し出がある場合は、家族に承諾を得る事としている。外出で整髪に出かける方は行きつけの理髪店が馴染みの場所や人になっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者さま同士の関係に配慮して、食卓の席やソファの位置などを配置しコミュニケーションが取れるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(つつじ館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された入居者さまや御家さまとの関係を大切に、必要があればいつでも相談や支援を行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段より、コミュニケーションを大切に、会話の中から本人の希望、意向に添えるよう努めている。	利用者の表情や様子、普段の話しの中から気持ちを推察したり、家族から昔の事を聴き検討している。センター方式を活用し情報を蓄積している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人や御家族から聞き取りを行い記録している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で本人の出来る事、有する力の把握に努め職員間で共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や御家族の意見要望を聞き、必要時には専門職や医師、看護師の意見も反映させ、職員と計画作成者が話し合いながら介護計画を作成している。プラン更新時には評価表、モニタリング表、センター方式を活用してしている。	ケアマネジメントはセンター方式を活用し、介護計画を作成している。カンファレンスは、利用者と家族のニーズをその都度シートに載せ、短期目標を検討し結論を導くなど、今後のより良いケアに向けた見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の気づきやケアを具体的に記録して職員間で共有し次のケアプランへ活かしている。また、連絡ノートや毎朝の申し送り、デスクネッツで情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況、新たに生まれるニーズに対応出来るよう取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の歯医者や床屋、町内会のお祭りなど利用し参加させて頂き、安心、安全で暮らして頂けるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医の訪問診療は月2回来て頂き、定期健診は受診しています。市内の個人の掛かりつけ医療関係については通院介助を行っています。	契約時に家族と話し合い、現在は全員が協力医療機関による月2回の訪問診療を受け、歯科・訪問看護師は週に1度の訪問、他科は外来受診で対応している。利用者個別に診療記録を整備している。	

グループホーム みのり山手

自己評価	外部評価	項目	自己評価(つつじ館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が毎週火曜日来所、体調の変化や普段の様子、訪問診療、受診での状況を伝え相談して指示を受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携医で訪問診療も入っている為、何かあればすぐに相談できる状態で、24時間対応できる関係にあります。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	提携医と連携をとり、御家族様とも今後の状況を説明し、御家族様の不安を少しでも取りのぞけるよう何度も話し合いを行い、ホームで出来る事は出来るだけ何でも取り組んでいます。	「重度化・看取りに関する指針」を整備し契約時に同意を得ている。事業所の現状の体制下の中でぎりぎりの所まで対応し、その都度関係者間で話し合いを行っている。死生観の職員教育を法人と連携している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	常に事務所内に緊急時のマニュアルが用意されており、すぐに対応出来る状況にある。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中、夜間共に対応出来るよう避難訓練を行っています。又町内会の方々にも参加して頂いています。	年に2回の避難訓練を実施し、3月は地震から火災が発生した想定で訓練を行っている。昨年の地震、停電の際に地域の協力が得られている。職員は勉強会で救急処置を学んでいるが看護師の協力を得て訓練等を行う事としている。	災害に備えた備蓄品の充実に向け検討しているの で、運営推進会議等でも意見をもらいながら、強化されることに期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様のお気持ちに寄り添いながら、丁寧な言葉で話すよう心掛けています。	職員は入社時を含め定期的に接遇の研修を受講しており、利用者への言葉かけも尊厳を重視した温かみを感じられる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様のご希望を聞き、出来る限りご希望に添えるよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の生活を優先し、それぞれのペースに合わせて穏やかな生活を過ごして頂くよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	清潔を保ち、ご希望に沿ったみだしなみや、おしゃれ、お化粧品のお手伝いをしています。		

グループホーム みのり山手

自己評価	外部評価	項目	自己評価(つつじ館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の好き嫌いを把握して献立を作成している。下ごしらえや盛り付け、後片付けなどを一緒にして頂くこともある。季節の行事食を提供したり、外食に出かけて食事を楽しんで頂く支援をしている。	利用者とチラシを見ながら考えて食材に旬のものを取り入れた献立を調理している。外食では普段はトロミ食の利用者もドリアやオムライスなどを注文できる店を利用している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分の摂取状況を把握し、体重や本人の食べる量、栄養バランスを考慮して提供している。暑い日は水分を多めに摂ってもらい、お粥、キザミ食、ミキサー食、寒天ゼリー、栄養サポート食品など一人ひとりにあった食事を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアをしている。自力で出来ない方は職員が介助している。義歯を使用している方には毎晩義歯洗浄剤を用いて清潔を保っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄が出来るように、排泄のパターンをつかみ個別に対応している。個々に合わせた声掛けをし、尊厳を守る支援を心がけている。	全員のケース記録に時間と状態を記入しながら排泄のタイミングを見逃さないようトイレへ誘導している。下剤や寒天ゼリー、朝の牛乳で便通改善をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の状況を把握して、主治医と相談しながら下剤の調整を行っている。また、朝の牛乳や乳酸飲料、食物繊維を多く含む食品を提供したり、体操など身体活動にも留意している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の時間帯や湯の温度、同性介助など本人の希望に添って支援している。車椅子の方はシャワーキャリーを使用して安全に入浴出来るよう取り組んでいる。	ユニットにより月木、火金に全員が午前と午後に分け入浴をしている。温泉気分が楽しめる多種の入浴剤を利用者が選び、気持ちのよい入浴ができる取り組みをしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの就寝時間、起床時間に声掛けや介助を行っている。パジャマへの着替えや季節に合わせた掛け布団の交換など安眠出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の情報をファイルして、変更時には特記事項や申し送り共有し、職員間で連携して様子を観察している。薬の準備や服薬チェックは2重に行い事故防止を努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除や調理、食器拭き、洗濯物たたみなどをお願いしている。毎日集まって歌レクを行って楽しんで頂いている。個人的には居室でお琴を弾いたり、相撲や野球の中継を観戦する支援を行っている。		

グループホーム みのり山手

自己評価	外部評価	項目	自己評価(つつじ館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気のいい日は日向ぼっこをしたり散歩をしています。また、月に一度は外出などの行事を行い、普段とは違った食事を召し上がり楽しんで頂ける様努めております。	平岡樹芸センター、道の駅、空港、鮭のふるさと館などにでかけている。個別に支援もしているので希望があれば計画に取り入れている。家族が迎えに来て自宅で泊まったり墓参りに行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	必要な物は随時購入する支援をしている。お金はホームで立替えてから後日請求している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人より希望があった際には電話が出来るよう手配しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中と夜間に室温や湿度をチェックし、冷暖房や換気を行っている。また照明や自然光を取り入れて心地よい空間作りをしている。ソファを置いてくつろげる環境を提供し、正月やクリスマスなどの飾り付けで季節感を演出している。	どの共有空間も清潔感があり落ち着ける雰囲気がある。居間にカレンダーや手芸品、季節の飾りがあり、暖かい雰囲気が感じられる空間になっている。利用者のペースで集い、歌ったり体操をしながら居心地よく過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを配置して気の合う入居者さまがくつろげるようにしている。テレビを観たり、新聞や広告を見られるように支援している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際に自宅ですべて使っていてタンスや布団をお持ち頂き使い慣れたもので生活してもらっている。また、御家族の写真や好みの装飾品を飾って居心地の良い空間作りに配慮している。	利用者ごと好みの室温になるよう暖房器具で暖かさを調整している。お琴や仏壇、家族の写真など愛着のあるものを自由に配置し自分らしく自由に暮らせる部屋になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーで廊下やトイレに手すりを設置して安全に移動出来る様になっている。階段昇降が難しい方もホームエレベーターで1階と2階を行き来出来る様になっている。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0191300037		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームみのり山手 かえで館		
所在地	北広島市山手町6丁目4番		
自己評価作成日	令和1年10月2日	評価結果市町村受理日	令和1年11月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0191300037-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

北広島市山手町にホームが出来て丸9年、来年は10周年を迎えようとしています。昨年の地震による停電で町内会の方々も大変な時に、沢山の方々がホームの事を気に掛けて下さいました。ホーム理念の「地域の人々とのふれあいを大切に、たくさんの笑顔と安らぎのある暮らしを、送っていただけるよう支援します。」を基本に地域での関わりを大切に、地域ボランティアの活用、町内会参加の避難訓練の実施、町内会参加のイベントの実施などを行い、地域の中に根差したホーム運営を行っています。入居者様には個々に合ったケアを行い、居室には今まで使用していた家具などこれまでの生活を大切にしています。日中は体操や歌レク、嚙下運動などを行い、生活時間の変化を感じて頂けるよう心掛けています。また、季節を感じ取れる食事の提供や季節に合ったイベントを企画、実施し入居者様に楽しく笑顔になれる生活が送れるよう支援しています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和1年10月29日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
	○			○	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(かえで館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社の経営理念の他にホームの理念も作成し掲示しています。毎日の朝礼の際、唱和を行っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の方々が参加するイベントを計画し交流を行っています。また、避難訓練の際にも協力をして頂いています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等で認知症理解の為の説明を行っています。また、小学校の車椅子体験にスタッフを派遣し高齢者の生活に理解を深めて頂けてます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族様、町内会長、民生委員、地域包括支援センター、市の担当者が参加しホームに対する意見など頂き、サービス向上に役立っています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎回、運営推進会議に参加いただき情報を共有しています。また、北広島グループホーム部会に所属しており会議等に参加しています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホーム内の身体拘束防止委員会を立ち上げ委員会を3ヶ月に一度行いホーム内での発生因子の確認、対策などを話し合っています。また6ヶ月に一度職員に身体拘束防止の研修を行なっています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止法について学習を行い周知の徹底を行っています。また、社内で研修に参加した職員の報告書を共有しています。		

グループホーム みのり山手

自己評価	外部評価	項目	自己評価(かえで館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修などに参加し学んでいます。また、勉強会を開催し研修に参加した内容など皆で共有しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に必要な書類を用いて説明し、十分話し合いを行ったうえで契約を頂いています。また、毎月近況報告の手紙を送付しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の際に家族様にも参加を頂きご意見をいただいています。また、直接社長へ届く「御意見箱」を設置している。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議やユニット会議を開催し会社やホームの運営方針を説明し、参加したスタッフからの意見を議事録を作成し回覧しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回、自己評価を行っており、その際職員との面談を行い仕事やその他の意見を聞き、職員個々のやりがいが保てるよう注意を払っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月持ち回りで勉強会を開催し職員自身が講師をなり学んだ事の発表の場を作っています。また、外部研修参加後報告書を作成しグループウェアで公開しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム間で職員が訪問して交流する機会をつくり、サービスの質の向上に繋がっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(かえで館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時前に、本人様に面会をしご意向とご要望を確認した上で、スタッフに情報を周知し、初めての環境に不安なく慣れて頂けるよう配慮している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時前に、ご家族様に面会をしご意向とご要望を確認した上で、スタッフに情報を周知している。また、ご家族様からの連絡があった時は、スタッフや必要時はホーム長やリーダーが対応出来るよう連絡体制が取れている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時前に、本人様・ご家族様に面会をしご意向とご要望を確認しニーズの把握に努めている。ホームでは、訪問歯科・訪問リハビリ・訪問美容などの利用を希望により対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様とスタッフは日常的に生活のいろいろな場面で感謝の言葉を交わしあう関係が作られており、入居者様を巻き込んだ居心地の良い環境づくりを心掛けている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には、毎月お手紙で現状や出来事などをお知らせしている。また、ご家族様も、レクに参加して頂いたり、面会時は、普段の生活状況をお伝えしご要望等の確認を随時行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	縁者様との連絡はいつでも取れる様にし、来所時はゆっくりとお話できる環境を提供している。また入居者様が地元で生活していたこともあり、外出時には住んでいた近郊の景色を見て話題にしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操やレクを一緒に行ったり、食事やお茶のみなどをしながら談笑出来る環境を整え、スタッフが仲介に入り、話題の提供などを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(かえで館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の相談や支援に努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	これまでの生き方や、趣味・嗜好などをおしゃべりの中で聞き取り、本人の希望に沿った暮らしが出来るよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの暮らし方、生活環境を話をする中で聞き取り、サービスの内容に盛り込むよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の過ごしかたが、以前とかけ離れていないか、心身状態共に現状把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がよりよく暮らすために、本人・家族・スタッフと話し合いをし、現状に即した介護計画書を作成している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日のケアの実践と結果を個別に記入し、職員間で情報を共有しながら、介護計画書の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人のニーズや状況に応じて、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身共に安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している		

グループホーム みのり山手

自己評価	外部評価	項目	自己評価(かえで館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週火曜日に、訪問看護師が来て日常生活の様子や、受診結果などを報告し、医療面の疑問や悩みについて、アドバイスや助言を頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	受診時はスタッフも同行し、疑問や悩みを相談しています。また、月に2回提携している病院より訪問診療を受け、情報を共有しながら、関係作りを行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りケアをチームで行う為、病院、訪問看護師、ご家族様との連携を密に行ない、話し合いの場を設けたり、職員の不安解消のため、勉強会や話し合いの場を設けています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、職員間でシュミレーションや、緊急時の優先順位などを把握する話し合いを会議の時などに行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼夜を想定した避難訓練を消防と連携を図りながら実施している。町内会の方にも参加して貰っています。		

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その時の状態や様子を見て、気持ちをくみ取るような声掛け、対応をしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の会話のなかで聞かれる本人の意思を尊重し、自身で決める事が出来る様に声かけをしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	リビングでテレビを見たり他入居者様とお話をしたり、居室で休まれるなど一人ひとりの生活リズムに合わせて関わっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の気候にあう服や着たい服を選んでもらったり、お化粧をしてもらうよう声掛けをしています。		

グループホーム みのり山手

自己評価	外部評価	項目	自己評価(かえで館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	バランスの良い献立作成を心掛けています。利用者様の好き嫌いを把握しメニューの代替などを行い提供しています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスの良い献立を作成し提供しています。利用者様に適している食事量の提供に心がけ、食事量や栄養の足りない利用者様へ栄養調整食品を併用し栄養バランスを保っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い清潔を保っています。入居者により必要時は歯科訪問を受け口腔ケアや治療を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し、時間毎にトイレ誘導を行い、排泄の失敗を減らす様にしています。オムツ使用者はオムツ軽減を行うよう職員間で情報を共有しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防食品を献立に取り入れ提供しています。毎日午前、午後に体操を行い便秘予防に取り組んでいます。体操に参加出来ない利用者様へは個別に手や足を動かすマッサージを行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の声掛けを行ないご本人の意思の確認後入浴していただいています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者さま一人ひとりに適した時間で臥床して頂けるように配慮し安心して眠れるような環境作りと声掛けをおこなっています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師や訪問看護師や薬剤師と連携をとりながら服薬管理を行い情報共有を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節ごとの行事を企画し利用者様と一緒に楽しんでいます。また月に1度は外出し外食をしたり景色を楽しんだりしながら気分転換を行っています。		

グループホーム みのり山手

自己評価	外部評価	項目	自己評価(かえで館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	定期的に、床屋へ出かけたり、毎月外食や季節の花などを見学されております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人一人一人の希望に沿って、必要な時には職員が代行して支援を行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙などは本人の気持ちに添えるようにしているが、現在電話を掛けたいと申し出がない。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日、掃除機かけ、モップ掛けを行い、汚れが見られた時はその都度掃除し、入浴も出来るところはご本人に行って頂き出来ないところは、介助にて行っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室で自由に過ごしていただいたり、フロアーで皆さんで体操したり、歌を唄ったり、気の合った人と会話をして過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様がご本人様の写真や使い慣れたものを居室に飾ったり、置いたりされご本人様も落ち着いて生活されています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの暮らし方を見ながら、生活環境を考えて、生活しやすいようにしております。		

目標達成計画

事業所名 グループホームみのり山手

作成日：令和 1年 11月 11日

市町村受理日：令和 1年 11月 13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	家族様の運営推進会議への参加が減ってきている。	1回の開催に最低2名は参加して頂く。	家族様へアンケートを実施し、時間帯、会議の内容を検討する。	3ヵ月
2	35	冬に向けての災害時の寒さ対策が不十分。	暖房器具等の充実。	暖房器具等の購入、保管場所の確保。	1ヵ月
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。